

こころの病について、知ろう。考えよう。

人は、人を浴びて人になる

～自身と家族の病気と向き合った、精神科医のお話から～

現在、日本国民の約40人に1人以上は、「うつ病」などの、何らかの精神病を抱えているとされています。（厚生労働省 HP「みんなのメンタルヘルス」より）
周りの人や自分が『精神病』にかかったとき、どうすれば良いのでしょうか？
そして、当事者の方々は、どのような道のりを経て回復していったのでしょうか？
一緒に考えてみませんか？

※お申込み必須

定員80名

2月10日(月)締切

QRコードかメールアドレスから
お申込み下さい。

【日時】▶▶ 2月12日(水) 18:10～20:00

【会場】▶▶ 静岡県立大学草薙キャンパス
国際関係学部棟3階3317教室

※お越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。

●講師プロフィール

【略歴】

浜松医科大学医学部卒業。同精神科助手、共立菊川病院、精神科浜松病院を経て、2000年、やきつべの径診療所(静岡県焼津市)を開設。児童精神科医。医学博士。

家族、患者、そして医師の立場から精神科医療への提言や、地域の不登校。発達障害児への療育支援を行っている。

【著書】

人は人を浴びて人になる(ライフサイエンス出版)

心病む母が遺してくれたもの(日本評論社)

もうひとつの「心病む母が遺してくれたもの」(日本評論社) 等



講師：児童精神科医

夏苺郁子 先生

なつかり いくこ

どなたでもご参加頂けます。お気軽にご参加下さい。

※お申込みは必須です

お申込み
お問合せ

MAIL i16058@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:本林)

お申込みフォーム

